

◆多自然川づくりポイントブック

河川改修時の課題と留意点

2007年発行（108P）

編集：多自然川づくり研究会

発行：財団法人リバーフロント整備センター

2006年（平成18年）多自然川づくり基本指針が定められ、これまでの多自然川づくりの課題と既往の検討成果から、多自然川づくりを進めていく上でのポイントになる事項と留意すべき事項をとりまとめたものです。河川管理担当者、民間技術者の方に一読いただきたい図書です。

【目次】

まえがき	1
第1章 多自然川づくりのポイント	3
■ポイント1:川の働きによって形成される複雑な地形を保全・回復する	5
■ポイント2:川の働きを許容する空間を確保する	7
■ポイント3:川の連続性を保全回復する	12
■ポイント4:河川風景を豊かにする	16
第2章 流程別に見た河川特性と環境要素	23
■上流区間：山間地区間（渓谷、セグメントM）	25
■中流区間①：扇状地区間（セグメント1）	28
■中流区間②：谷底区間（セグメント1～2-1）	29
■下流区間①：自然堤防区間（セグメント2）	30
■下流区間②：汽水域から河口（セグメント3）	31
第3章 特に留意すべき環境資源と環境要素	33
■川の働きで形成される多様な地形構造を保全回復する	35
■瀬・淵構造を保全する	39
■水際の構造（水際植生・水際凹凸）を大事にする	43
■河畔林など良好な風景を保全する	50
第4章 多自然川づくりの留意点	53
■留意点（1）：河道を過度に整正したり画一的な断面にしない	55

■留意点（2）：瀬と淵を保全する	62
■留意点（3）：良好な河畔林を保全する	65
■留意点（4）：中小河川では河床幅をできるだけ広く確保する	71
■留意点（5）：水際植生を保全回復する	74
■留意点（6）：低水路を固定しない	75
■留意点（7）：床止め等の横断工作物は極力設置しない	81
第5章 計画・設計プロセス	85
参考文献	92
参考資料	93
「多自然川づくり基本指針」	
「多自然川づくりレビュー委員会提言」	